



1 年間（1 学年時も含めると 2 年間）取り組んできた SGH 課題研究について、2 年生が振り返りました。そのうち、顕著であった類似した意見をまとめました。

## ◇ 活動をする中で、何が一番大変でしたか。

- グループの中で何もやろうとしてくれない人に何をやらしてもらおうか考えて活動すること。
- コンピュータの操作。（プレゼンテーションを見やすくする）
- どうやったら、より詳しく、実現性が高いプランができるか考えること。
- 必要な情報が存在しない、見つからないなど情報収集が困難だった。
- 自分たちで考えたプランを広げるための方法がなかなか思いつかなかった。
- 研究課題の分野で用いられる専門用語を分かりやすく伝えること。
- 研究テーマが及ぶ範囲が広すぎたため、調べたり、情報を取捨選択したりするのが大変だった。
- 当事者の方に失礼にならないよう、本当に正しい情報を見極めて文字に起こすこと。
- 何を一番伝えないといけないかを慎重に選ぶこと。
- 調査するなかで、自分たちが思いつくようなことはもう実施されていたり、逆に、自分たちにとって不都合な事実が発覚したりする点。
- 伝えたい内容が多くある中で、6分という短い時間にまとめること。



## ◇ あなたは、その困難をどのようにして乗り越えましたか。

- 同じグループの人や、先生方に相談する。
- いろいろなウェブサイトを見て、様々なキーワードを検索して、必要な情報にたどりつくことが出来た。
- グループで話し合ったり、インターンシップに出かけるなどし、実際に体験したりすることで解決できた。
- 自分の意見を押し付けることなく、相手の意見を理解しながら、まとめた意見を丁寧な言葉で伝えること。
- 分かりやすく伝えるために、身近なものを例示するなどとした。
- 「その道のプロ」を訪ね、その方の話を聞くことで、容易に解決することが多々あった。
- 様々な情報を多角的に見ることにより、より正確な情報を得ることが出来た。
- とにかく逃げずに考えた。よく分からなくなったら一旦寝かせて、落ち着いたたらまた考えた。



◇ 1年間のSGH活動は、あなたにとってどのような意味がありましたか。

- 美濃加茂市の古井小に行って実際に学習支援の現状を知ったこと、難民の方の話を聞いて、その思いを知ったことなど、実際の体験を通じて多くのことを学びました。
- 問題解決に向けて、自分に出来ることは何かということを考えたり、研究課題に関することについて常に意識して生活を送ったりと、活動的になれたという点で、意味あるものだった。
- 自分たちで決めた問題に最後まで取り組むことの大変さを知った。
- 自分たちにとって気になるテーマを探し、そのテーマに向かって、より良いものを生み出すために、きちんと筋の通ったレポートを作成するといったことが出来るようになった。
- 何かについて研究することの難しさを知った。仲間と協力して解決策を追求することの楽しさを知ることが出来た。
- 自分の視野が広がった。それまで考えたこともなかった大事なことに少しでも協力することができる。
- 各種講演会は、多方面にわたる先達からの経験談を聞ける機会であり、非常に興味深かった。
- インターンシップに参加して、聞きかじっただけの事柄について深く知ることが出来た。
- 世界の現状について知ることができた。
- 実際には、他人事として捉えがちな世界の問題について、深く考える機会を得ることができた。
- 課題解決にいたるには、多面的にメリット、デメリットを考えることが大切だと分かった。
- 他人と協力し、積極的に取り組む姿勢。



- 自分の視野を広げ、自分の脳を耕すことができる機会。自分の興味あることから、それと関連のある全てのものを認識し、意識的にアンテナを張ることが出来るようになる。
- バラバラのメンバーが集まって、一つのことについて深く考えるという貴重な体験だった。考え方の違いや言葉の使い方だけで大小さまざまな誤解があり、それを解くことが大変だったが、人と関わることの大切さを知った。
- 大嫌いな英語が少し好きになれた。
- 世界に目を向けたり、論理的思考能力を身につけたりすることの重要性を理解できた。
- とても楽しかった。能動的に行動する際に直面する疑問にたくさん巡り合えたと思います。
- 多くの人の生き方や考え方にふれる機会となった。また、発表会の司会やSSS（註：スーパーハイスクールセッション）など、新しいことにも挑戦できた。
- 自分の意見を納得してもらうには、その不確定要素を無視せず、まずはそれを潰すことを考える。話し合いで意見が出たら、まずは反対意見を出すなど、よりよい課題解決の方法を学べた。
- 他の学校の人たちや大学の先生方（研究者）と意見を交換するとても有意義なものになり

ました。SGHは僕に大きく影響しました。

- プレゼンテーション作成能力の向上。
- 将来、何か課題を解決しなければならない場面に出会った時に活かせるようなノウハウをこの活動で得られました。また、講演会では様々な職業の方の様々な人生経験を耳にし、これからの人生を生き抜くための心構えを学べた。
- 答えのないものの答えを探すことは大変だけど、この活動のおかげで達成感を感じられた。今後は、一つの問いに対して複数の答えが出せるようにしておきたい。
- 新しい考えを取り入れることの大切さを学びました。自分の価値観だけで物事を測りがちですが、1つのテーマについて色々な人と話してみるとそれぞれ別の答えがあって、より柔軟に考えられるようになりました。
- どう生きていくのかについて考えさせてくれる活動でした。自分の将来の夢に関連する方からの話は、発見が多かった。
- 税所先生の講演会は、私にとって忘れられないものになった。問題解決への新たな切り口にも感動したが、直接話してみて、それらに向かう姿勢や取り組んでいる方の人柄など、とても心ひかれるものとなった。

#### ◇ 活動を終えた今、あなたにとっての課題は何だと思いますか。

- 自分の意見を伝えること。
- 判断力を付けること。
- 英語の運用能力
- 積極性
- 勉強（知識を増やすこと）
- 何よりも勉強。
- 課題発見力・解決力
- より広い視野をもつこと。
- もっとアウトプットすること。
- いかにか自分の理想に本当の自分を近づけるか。



- 自分の性格を受け入れて、人間関係を作っていくこと。
- 他人と考えを共有し、否定されることを恐れないようにすること。
- 自分の興味あることにはいくらかでも全力になれるということが分かった。
- グローバル化が進む中で、他の地域や他の人々のことを知るためには、まず自分のことについて知っておくべきだと考えました。様々な人と意見を交換するためにも、一つ一つの物事に対する自分の意見・感想を大事にしたいです。
- 課題解決力が必要だと言われるが、そもそも、自分には課題発見力が不足している。
- 身近にあるが、気づけていない課題を、社会や周りの環境をフラットに考えながら見つけ出す力をつけること。
- 意志を貫くこと。
- コミュニケーション能力。
- 語彙力の向上

